

どこまでも透き通っている空を見上げて、  
心をゆすぶるひとの、食い入るように空の青  
を見つめるそのまなざしが見える。それが余  
生である。

生きるかたちのまぎれもない理想を、ひた  
すらに感じ入る。

石田 一郎